

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 10 日 (2014.7.10)

【公表番号】特表 2012-509807 (P2012-509807A)

【公表日】平成 24 年 4 月 26 日 (2012.4.26)

【年通号数】公開・登録公報 2012-017

【出願番号】特願 2011-537873 (P2011-537873)

【国際特許分類】

B 6 0 C 11/00 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

C 0 8 L 9/06 (2006.01)

C 0 8 L 7/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

C 0 8 K 7/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 C 11/00 B

B 6 0 C 11/00 G

B 6 0 C 1/00 A

C 0 8 L 9/06

C 0 8 L 7/00

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 3/36

C 0 8 K 7/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 26 日 (2014.5.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自動車用のラジアルタイヤ (1) であって、

路面に接触するようになった少なくとも 1 つの半径外側部分 (3 a) を備えたトレッド (3) を載せているクラウン (2) と、

2 つの非伸張性ビード (4) と、前記ビード (4) を前記トレッド (3) に連結した 2 つのサイドウォール (5) と、前記 2 つのサイドウォール中に延びて前記ビード (4) 内に繋留されたカーカス補強材 (6) とを備え、

前記クラウン (2) は、前記カーカス補強材 (6) と前記トレッド (3) との間に周方向に配置されたクラウン補強材又はベルト (7) によって補強され、

半径方向外側エラストマー層 (3 a) の配合とは異なる配合を有する「アンダーレイヤ」と呼ばれる半径方向内側エラストマー層 (3 b, 8) を有し、前記アンダーレイヤは、前記トレッド (3) の前記半径方向外側層 (3 a) と前記ベルト (7) との間に配置されているタイヤにおいて、

前記アンダーレイヤは、スチレン及びブタジエンを主成分とする 50 ~ 100 phr のコポリマー、補強用充填剤、及び 10 ~ 150 phr の板状充填剤を含み、

前記コポリマーのガラス転移温度は、- 40 以上である、

ことを特徴とするタイヤ。

【請求項 2】

前記コポリマーは、スチレン ブタジエンコポリマー、スチレン ブタジエン イソプレノコポリマー、及びこのようなコポリマーの配合物から成る群から選択される、請求項 1 記載のタイヤ。

【請求項 3】

前記コポリマーは、スチレン ブタジエンコポリマーである、請求項 2 記載のタイヤ。

【請求項 4】

前記コポリマーのガラス転移温度は、 $-30 \sim 0$ である、請求項 1 記載のタイヤ。

【請求項 5】

スチレン及びブタジエンを主成分とする前記コポリマーは、スチレン及びブタジエンを主成分とする前記コポリマーとは異なる第 2 のジエンエラストマーとの配合物として用いられる、請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 6】

前記第 2 のジエンエラストマーは、天然ゴム、合成ポリイソブレン、ポリブタジエン、イソブレンコポリマー、及びこれらエラストマーの配合物から成る群から選択される、請求項 5 記載のタイヤ。

【請求項 7】

前記第 2 のジエンエラストマーは、イソブレンエラストマーである、請求項 6 記載のタイヤ。

【請求項 8】

前記補強用充填剤の含有量は、 30 phr から 70 phr の範囲内にある、請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 9】

前記アンダーレイヤ中の前記板状充填剤の含有量は、 $20 \sim 100 \text{ phr}$ である、請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 10】

前記板状充填剤は、黒鉛、タルク、マイカ、及びこのような充填剤の混合物から成る群から選択される、請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載のタイヤ。

【請求項 11】

前記板状充填剤は、黒鉛粒子から成る、請求項 10 記載のタイヤ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

したがって、本発明の第 1 の要旨は、自動車用のラジアルタイヤであって、路面に接触するようになった少なくとも 1 つの半径外側部分を備えたトレッドを載せているクラウンを有し、

2 つの非伸張性ビード、ビードをトレッドに連結した 2 つのサイドウォール及び 2 つのサイドウォール中に延びてビード内に繋留されたカーカス補強材を有し、

クラウンは、カーカス補強材とトレッドとの間に周方向に配置されたクラウン補強材又はベルトによって補強され、

半径方向外側エラストマー層の配合とは異なる配合を有する「アンダーレイヤ」と呼ば

れる半径方向内側エラストマー層を有し、アンダーレイヤは、トレッドの半径方向外側層とベルトとの間に配置されている、タイヤにおいて、

アンダーレイヤは、スチレン及びブタジエンを主成分とする50～100 phrのコポリマー、補強用充填剤、及び10～150 phrの板状充填剤を含むことを特徴とするタイヤにある。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

より好ましくは、SBRコポリマーが用いられる。SBRコポリマーのうちで、特に、スチレン含有量が5重量%～60重量%、特に、20重量%～50重量%、ブタジエン部分の1,2結合の含有量(mol%)が4重量%～75重量%、トランス1,4結合の含有量(mol%)が10重量%～80重量%のコポリマーを挙げるのが良い。

好ましくは、スチレン及びブタジエンを主成分とする上述のコポリマーのガラス転移温度(又は“ T_g ”)は、-40 以上であり、特に -40 ～ 0 であり、より好ましくは -35 よりも高く、特に -35 ～ 0 である。特に好ましい一実施形態によれば、このようなコポリマーの T_g は、-30 ～ 0 である(例えば、-25 から -5 までの範囲内にある)。